

2月の星空

寒風吹き荒れ寒さ身に沁みるこの所いかがお過ごしでしょうか、この後は比較的寒さが緩むとの事ですが水が温くなって来るのはもう少し先になります、まだまだ寒さ対策を怠らない様にしてしてください。

さて年が開け1月・2月この頃が星を観る時期としては最高の季節になると思います、寒ささえ我慢すれば身も凍る空気の中、宇宙の深層まで見通せる様な空を体験出来る事でしょう。

(冬はシーイングが良くないので、まさにキラキラ光る、きらめく星座が見られます。)

2月の惑星は基本的には朝明るくなる少し前の空に水星・金星・火星・木星・土星の5惑星が肉眼で観る事が出来る明るさを保って輝いて居ます。

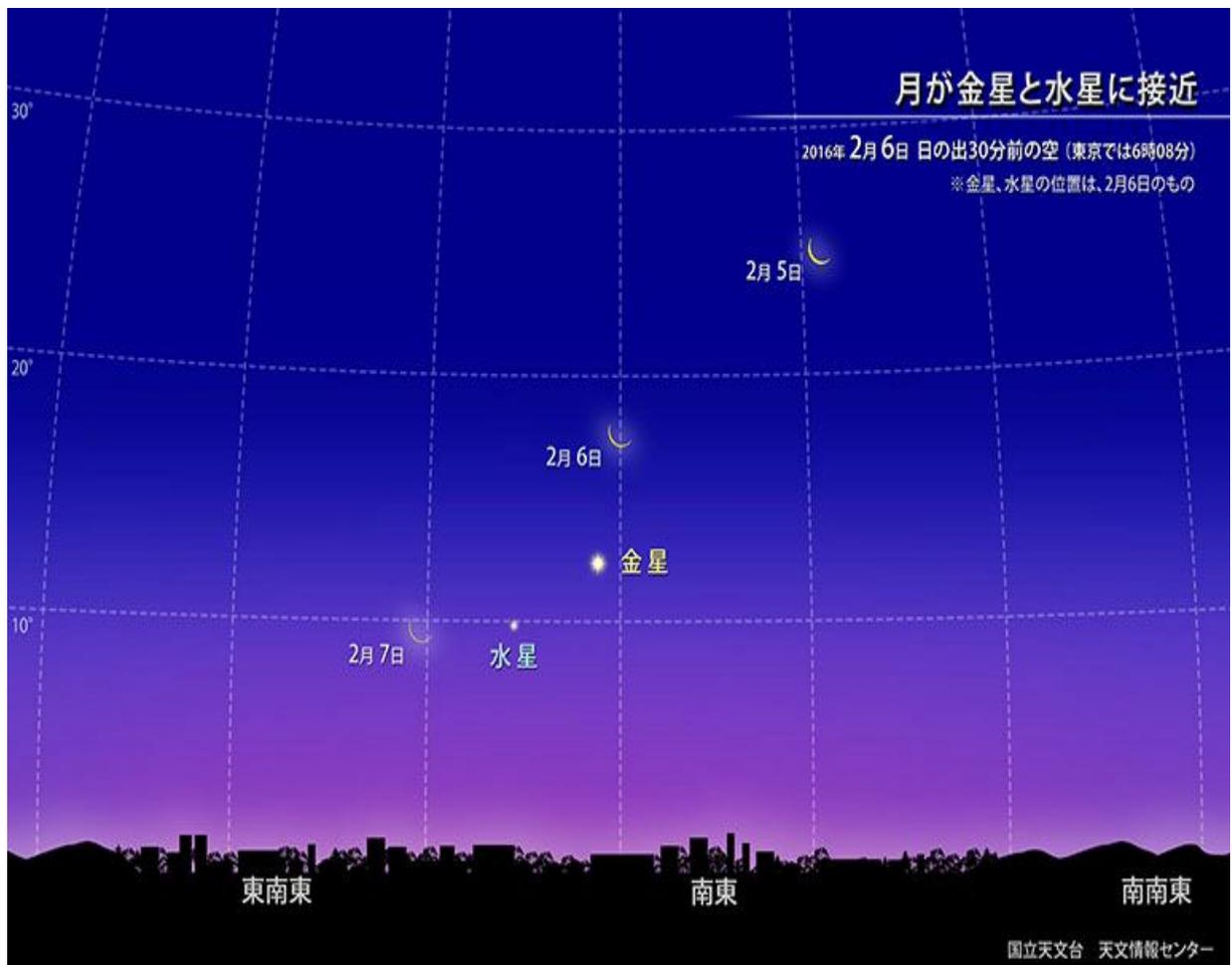
ただし体感温度は間違いなく氷点下だと思われまので充分防寒に気を使ってください。

(私は明るくなるまで寝ています。)

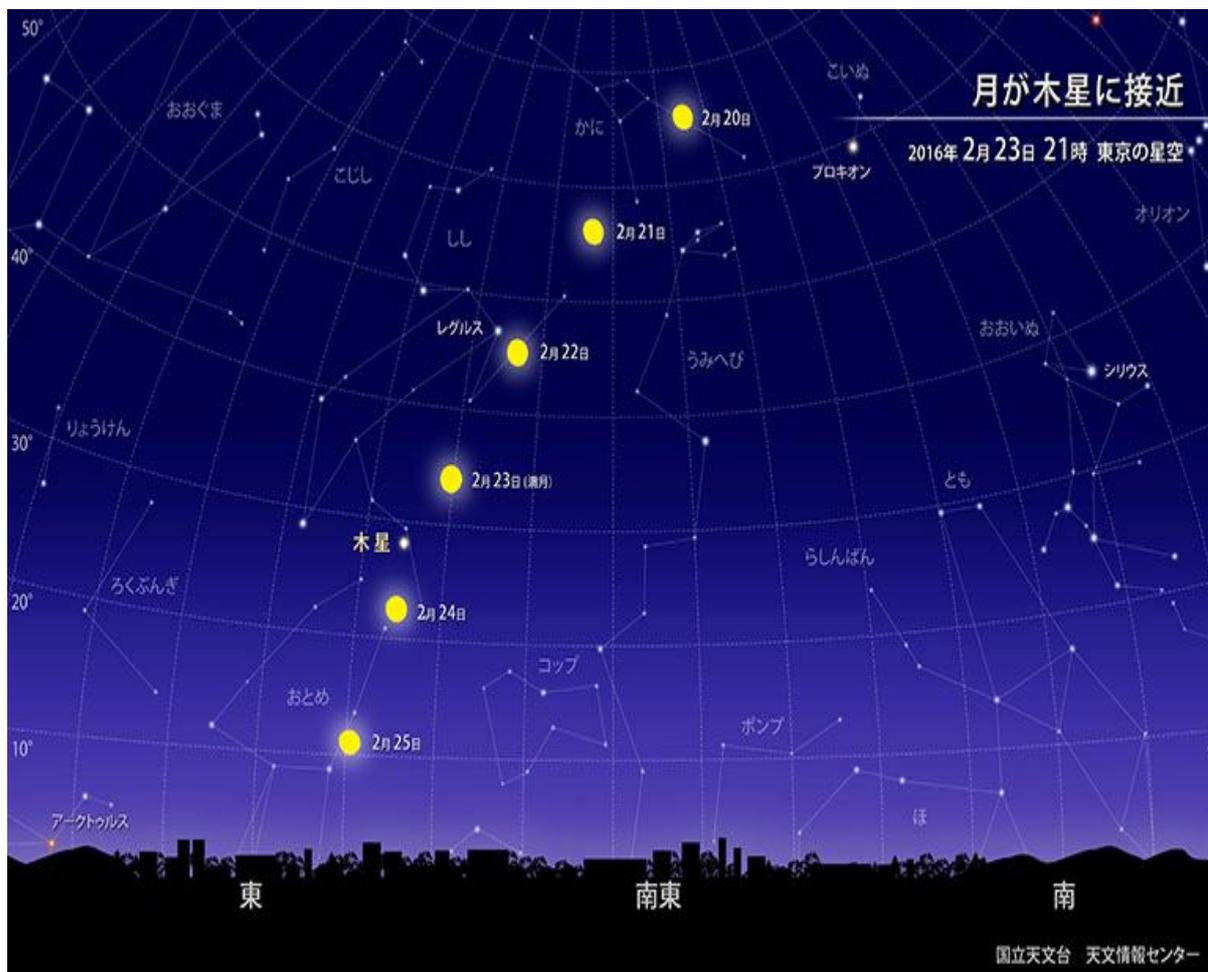
残りの惑星、天王星・海王星は夕方西の空から南の空に見えますが暗いため肉眼で探すのは諦めた方が良さそうですね。

先年太陽系で一番太陽から遠い所を回っていた惑星(冥王星)が惑星の条件を満たさず準惑星に格下げされて太陽系は8つの惑星しか無いという事になっていましたが先日計算上で第9惑星が有るとのニュースが飛び込んで来ました、質量は地球の10倍ほどのかなり大きい惑星だそうです、ただし太陽を1周するのに数万年掛かるほど遠方を回っているそうです(その惑星の1年は地球で言う数万年になります)、実際に早く見つければ良いですね。

惑星の位置関係として別図にて月初めに月と金星・水星の位置関係を示す図と月の後半20日過ぎからの月と木星の位置図を付けておきます。



2月5日から2月7日にかけての夜明け前の位置関係です。



2月20日から25日にかけての位置関係です。

そして去年も記しましたが見ると寿命が延びる縁起の良い星カノープスを見つけましょう、南の地平線に近い星で今の時期を外すと探すのは不可能になります。

(南に行けば行くほど高度は高くなり見やすくなります。)

カノープス自体は全天で2番目に明るい(一番はおおいぬ座のシリウス)のですが高度が低いいため暗く・赤っぽい色に見えます、オリオン座とおおいぬ座シリウスを目安として探してみてください。



主な場所の南中高度と時刻

場所	南中高度	南中時刻 (1日)	南中時刻 (11日)	南中時刻 (21日)
那覇	11.2度	22時09分	21時30分	20時50分
福岡	3.9度	21時58分	21時19分	20時39分
京都	2.5度	21時37分	20時57分	20時18分
東京	1.9度	21時21分	20時41分	20時02分
福島	0.1度	21時18分	20時39分	19時59分

この場所と時間を大体の目安としてさがしてみてください。

また関東を中心にした星座早見表ですがこれを見ながら冬の星座を少しでも多く探して見てください。

